

横浜市少年自然の家 赤城林間学園

平成29年度 事業計画書

指定管理者

公益財団法人 横浜市体育協会

1 基本的な考え方

赤城林間学園の位置づけ、関連行政施策、重点課題等を踏まえ、次のとおり5つの基本方針、さらに15のアクション（実施策）を定め、指定管理事業に取り組みます。

(1) 運営方針に基づく15のアクション

基本方針1 野外活動・自然観察の拠点として価値の高い施設にします
アクション(実施策) ①「総合的な学習」をサポート ②赤城ならではの自然体験活動等を提供 ③市民ボランティアとの協働
基本方針2 安全・安心な施設にします
アクション(実施策) ④安全管理体制の強化 ⑤ユニバーサルサービスの充実 ⑥ライフサイクルコストの縮減
基本方針3 大規模グループからファミリーまで一年を通じて満足いただける施設にします
アクション(実施策) ⑦ネットワークを駆使し効率的なPR活動を実施 ⑧職員の資質向上と資格認証等の取得
基本方針4 地域に根ざした施設にします
アクション(実施策) ⑨地元人材の活用と地元経済への貢献 ⑩横浜市と昭和村との友好関係をサポート
基本方針5 SR(社会的責任)活動を実践します
アクション(実施策) ⑪モニタリングの仕組みの整備 ⑫コンプライアンス活動の徹底 ⑬PDCA サイクルによるマネジメントの推進 ⑭環境に配慮した施設管理 ⑮環境行動を促す事業の実施

(2) 平成29年度の方針と年度達成目標

年度方針	主な取組(予定)	年度達成目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 第三者評価での指摘事項等の反映 ● 第4期指定管理期間に向けての運営上の課題点の整理 ● 自主事業(教室事業)参加率の前年度比アップ ● 自主的活動収入の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校利用増、教室参加者増に向けた営業活動強化 ◆ 第三者評価での指摘事項、改善事項の整理と事業への反映 ◆ 自動販売機増設やレンタル品、販売物品等拡販計画の実行 	実利用者 15,040人 平成23~25年平均の11.4%増

2 職員配置・運営体制

赤城林間学園の管理運営にあたり、必要最小限の職員体制で、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。

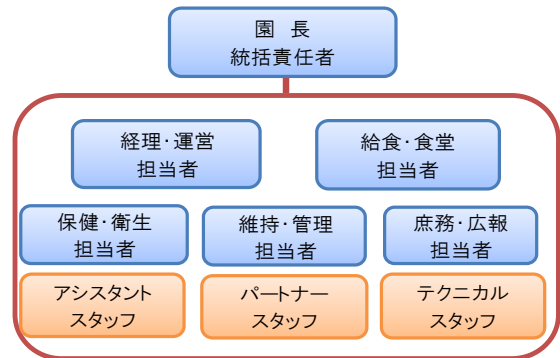
(1) 管理運営体制

ア 職員の配置

園長、経理運営担当者、保健・衛生担当者、給食・食堂担当者、維持管理担当者、庶務・広報担当者を配置します。

職員は、地元住民を採用して配置し、緊急時にはいつでも施設へ駆けつけることが可能な体制とします。

■ 赤城林間学園の管理運営体制



イ 補助スタッフの配置

繁忙期には利用団体への支援業務、小破修繕を行うサポートスタッフをアルバイト雇用するほか、必要に応じ、利用者への野外活動指導を行うことができるパートナースタッフを配置します。

また、こんにやく作りやうどん作りなどの指導を行うテクニカルスタッフは、専門的な技術を持つ地域人材に依頼します。

ウ 勤務ローテーション

利用団体の活動状況にあわせて通常、遅番、宿直勤務、休日などを組み合わせ、効率的に編成します。

(2) 職員研修

研修計画に則り、協会本部や園長が中心となって職場内研修や外部研修を実施し、人材の育成を図ります。

■ 平成 29 年度職員研修計画

内容	対象
マネジメント研修	主任・担当スタッフ
危機管理・リスクマネジメント研修	主任・担当スタッフ
経理事務研修	担当スタッフ
施設管理・設備等技術研修	全スタッフ
ビジネスマナー・接遇研修	全スタッフ
個人情報保護研修	全スタッフ
コンプライアンス研修	全スタッフ
人権研修	全スタッフ
上級・普通救急救命講習	全スタッフ
ネイチャーゲーム体験会	担当スタッフ
自然観察指導員	担当スタッフ
キャンプインストラクター、キャンプディレクター2級	担当スタッフ
関東甲信地区青少年教育施設協議会	全スタッフ

3 施設の効用の最大限発揮

(1) 広報計画

教室や事業ごとに各種広報媒体を活用し、計画的な広報を行います。

■主な広報手段

活字メディア	ネット	その他
広報よこはま	Facebook	学校ポストの利用
自然と遊ぼう	ハマスポ	学校や青少年団体への周知
SPORTS よこはま	ブログ	駅や学校でのポスター掲示

(2) 利用促進

ア 学校ポスト校長会への訪問

横浜市内小学校による体験学習利用の促進のため、学校ポスト活用したチラシの配布や校長会でのPR活動を行うほか、学校を直接、訪問し、学園の利用をはたらきかけます。

イ 市内小学校教員限定の「体験会」を開催

学園を利用したことのない市内小学校の教員に限定した交通費負担の体験会「先生のための体験教室」を開催します（ひとりにつき3500円/日帰り・横浜⇄赤城・送迎費用込）。

ウ 個人利用プランの実施

団体の利用予約がありなお空き部屋がある場合は、すべて家族・一般利用を受け付け、利用者の増加を図ります。

エ 利用日の拡大

12月28日から1月4日まで開館します。

オ 自主事業(教室事業)の展開による利用促進

ゴールデンウィークや夏休みに自主事業(教室事業)を開催します。
別添「自主事業」参照

カ 利用促進事業の展開

4月にマウンテンバイク競技会、8月にもトレイルラン大会を赤城林間学園を会場として開催するほか、昭和村で開催されるサイクリングイベント「センチュリーライド」や「河岸段丘マラソン」にあわせた宿泊プランの見直しを行い、より多くの集客を図ります。

また、赤城での四季折々の風物を満喫できるよう地元商工会や村役場企画課と連携した「森林・スポーツエリア活用協議会」に参画し「森林ウォーキングMAP」といった新しい企画を開発提供することで学園の認知度を高めます。

更に、中学校、高校、大学等の部活動やサークル活動、ゼミの研修などを対象とした「合宿プラン」を設定し利用促進に繋がります。

(3) 利用者への支援策

ア 利用団体への支援

学園を安全で快適に利用していただくための支援は、①電話等での利用相談 ②来園による下見や事前打ち合わせ ③当日の最終打合せの3段階で行います。

イ 周辺環境を活かした豊富なプログラム提供

赤城林間学園を訪れたすべてのお客様が楽しく、安全に体験できる自然体験プログラムを提供します。

ウ 生活用品の販売や自動販売機の設置

近隣に商店がないことから、学園で必要となる生活用品等を販売するほか、学園内に清涼飲料水の自動販売機を設置します（4月1日から10月31日まで）。

(4) 食事提供

ア 食事の提供計画

一部食材において、地元の新鮮な食材を使い、季節に合わせてメニューを変更することで、赤城を感じることができる食事にします。活動内容に合わせて屋外でも食事ができるよう、野外炊事用食材も販売します。

イ 食物アレルギーのあるお客様への対応について

アレルギーがある児童（お客様）については、事前にヒアリングを行い、食材から調味料、使用器具、調理手順に至るまで、アレルギーの除去が徹底されるよう、細心の注意を払います。

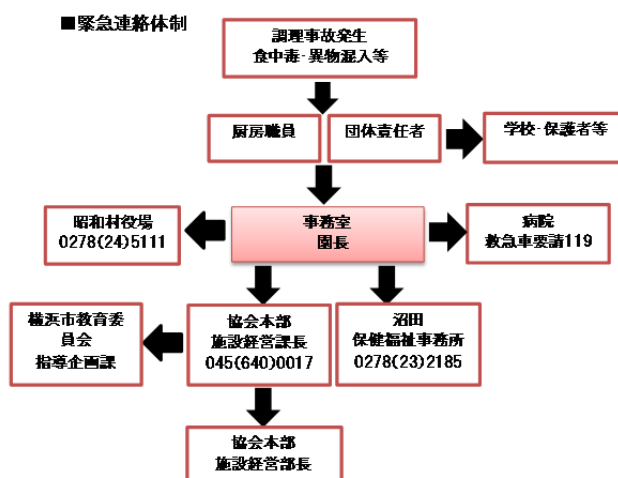
また、アレルギーをもつ児童へ手渡す際は、栄養士（職員）、調理員、引率責任者の3者立会いのもと内容を確認して児童へ手渡すこととします。

ウ 献立、成分の情報公開

給食や特別料理などの全メニューの原材料や成分表をインターネットで公開します。

エ 調理事故発生時の連絡体制

万が一の事故が発生した場合に備え、あらかじめ「緊急連絡体制」を整えておきます。事故発生があった場合は、調理や食事の現場から園長を通じて協会本部、横浜市教育委員会等の各関係機関に迅速に連絡をします。



4 施設・設備の維持管理

(1) 施設・設備の点検

毎日の日常点検を確実に行うほか、法定点検及び機能維持点検（自主的点検）を信頼ある専門業者へ委託します。

■職員による日常点検計画

場所	内容	回数
各所	仕上げ材の浮き、ひびわれ、はがれ、照明の不点灯、建物のぐらつき等不具合の発見	毎日
ボイラー	作動状況・破損等の確認	作動時
浴槽ろ過装置	作動状況・破損等の確認	作動時
浴槽塩素注入機	作動状況・破損等の確認、浴槽水の残留塩素測定	作動時
学園敷地	倒木、落枝、路肩等の確認	適宜

■専門業者による定期点検計画

種別	項目	内容	回数
法定点検	特定建築物衛生管理	建築物環境衛生管理技術者の選任、空気環境測定業務など	6回/年
法定点検	汚水処理装置	作動点検及び水質検査	18回/年
法定点検	井水・浴場ろ過装置	作動点検及び水質検査	2回/年
法定点検	地下タンク保守点検	地下灯油タンク及び埋設配管の漏洩点検	1回/年
法定点検	自家用電気工作物点検	電気主任技術者による受電設備、分電盤等の点検	12回/年
法定点検	消防設備点検	屋内・外消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備、非常用放送設備、避難器具、誘導灯、防ばい煙制御設備、ハロゲン化物消火設備 他	2回/年
法定点検	防火対象物定期点検	防火対象物点検資格者による防火管理状況の設備・火気設備器具の維持管理状況などの点検	1回/年
法定点検	ばい煙測定	ばいじん、窒素酸化物、硫黄酸化物測定	2回/年
自主点検	ボイラー保守点検	ボイラーの定期点検	2回/年
自主点検	暖房機作動点検	作動点検	2回/年
自主点検	襲雷警報装置点検	作動点検	1回/年

(2) 日常清掃・定期清掃

利用後は職員が必ず最終点検、確認を行いながら清掃を行うほか、ガラス清掃や害虫駆除などを業者に委託して行い、快適で衛生的な環境を保持します。

■職員による日常清掃計画

場所	清掃内容	回数
各所ゴミ箱	ごみ収集	利用後
玄関・ロビー・廊下	床除塵	利用後
ラウンジ・研修室	床除塵	利用後

食堂	床除塵、整理整頓	利用後
宿泊室	床除塵、整理整頓	利用後
事務室	床除塵、整理整頓	毎日
トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び 衛生消耗品の補充	毎日
浴室・脱衣所・洗い場・洗面所	除塵、ごみ拾い、水切り後ふき取り	利用後
森の家	床除塵	利用後
建物内外外構	ごみ拾い、落ち葉清掃及び定期的な吸殻清掃	利用後
グラウンド・広場	ごみ拾い、落ち葉清掃及び定期的な吸殻清掃	利用後
照明器具、コンセント	器具の除塵	適宜

■職員による定期清掃計画

場所	内容	清掃内容	回数
トイレ	換気扇、便器、洗面台 他	除塵、便器、床タイル磨き、衛生用具洗浄	2回/年
浴室、脱衣場	排水溝、タイル、換気扇、鏡、洗面台 他	除塵、清掃、衛生用具洗浄	2回/年
各宿泊室	暖房機フィルター	水洗いで埃を落とす	2回/年
各所	照明器具	除塵、清掃	2回/年
各所	手すり、天窓	除塵、清掃	2回/年
宿泊室	押入れ、床、建具、換気扇、網戸	除塵、水拭き清掃	1回/年
食堂	食堂電気傘	電気傘の除塵	1回/年

■専門業者による定期清掃計画

場所	内容	清掃内容	回数
宿泊棟	ワックス清掃	ワックスを使用した床清掃	5回/年
森の家	ワックス清掃	ワックスを使用した床清掃	2回/年
宿泊棟	ガラス清掃	窓ガラス清掃	3回/年
宿泊棟	網戸清掃	埃清掃	1回/年
雨天集会場	ガラス清掃	窓ガラス清掃	1回/年
トイレ・浴室	清掃	床、便器、タイル、浴槽清掃	5回/年
宿泊室	寝具クリーニング	布団・毛布のクリーニング	1回/年
テント泊	寝袋クリーニング	寝袋のクリーニング	1回/年
宿泊室	害虫駆除	室内清掃、消毒剤噴霧	4回/年
厨房	グリストラップ清掃	グリストラップ排水管の洗浄	1回/年

■障害者就労支援による補完清掃計画

学校利用の集中する時期や夏休みには、障害者就労移行支援事業所の協力を得て、障害者の方に学園での補完清掃に従事していただきます。

内容	回数
宿泊室、廊下、階段、手すり、便器、浴槽など館内全般の補完清掃	16回/年

(3) 外構管理

敷地が広大な赤城では繁忙期の外構管理はシルバー人材センターに委託します。大雪が降った場合は、ホイールローダーを使って除雪を行います。

■外構・植栽管理計画

内容	実施者	回数
人力除草、中低木剪定、刈込	業者	134人工(4~8月)
薬剤散布	業者	適宜
排水溝清掃	職員	年3回(4・7・11月)
除雪	職員	降雪時

(4) 宿泊時の維持管理

ア シーツクリーニング

宿泊時にはスリーピングシートを1人に1枚ずつ支給し、利用終了後に、クリーニングを行います。

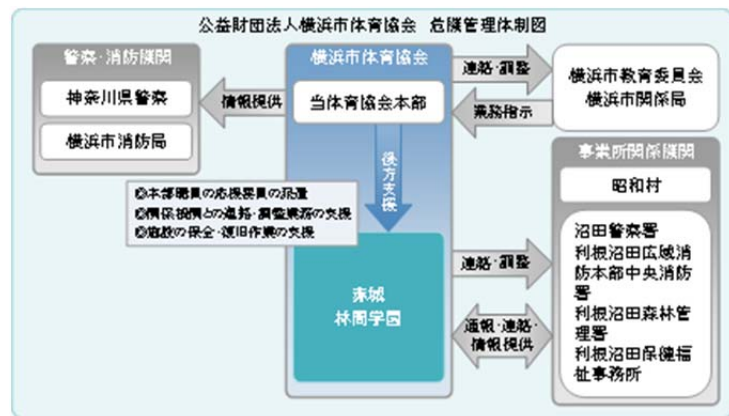
イ 寝具クリーニング

専門業者による寝具のクリーニングは年1回、布団の乾燥(天日干し)を適宜実施します。

5 安全管理

(1) 緊急・救急時の安全管理体制

事故などの緊急時に備え、協会全体で危機管理体制を確立するとともに、適切な緊急連絡網の整備により、情報共有をしながら迅速に対応します。



(2) 地震対策

ア 学園内での対応

学園内で地震が発生した場合は、非常放送を使い正面玄関へ誘導します。けが人がいる場合は、救急車を要請するなどの対応をします。

イ 関係者への連絡

地震が発生した場合は、学園当直職員から所属団体の緊急時連絡先・関係者に速やかに連絡し、学園での状況を説明します。避難状況等についても順次、指導職員やスタッフから学園に報告させ、適宜関係者に連絡をし、安心感を得られるようにします。

(3) 荒天の対策

気象状況により荒天が予想される場合は、早めの利用・実施の可否判断をします。
また、交通機関の運休や、道路の通行止めなどが発生した場合は、学園にしばらく留まり復旧まで滞在するよう勧めます。その間の食事や宿泊については最優先で対応します。

(4) 負傷者及び急病人の対応

ア 迅速な応急・救命手当と病院への搬送

活動中などに負傷者や急病人が発生した場合は、利用団体の引率者がまず応急手当と救命手当を行うことを原則とし、職員へ連絡をしてもらいます。連絡を受けた職員は、状況に応じ、救急車の要請または学園車両で病院へ搬送します。

職員が事故発生現場にいた場合は、引率者と協力して直ちに応急手当と救命手当を行います。

イ 職員の 24 時間対応

宿泊利用のお客様において夜間に負傷や急病が発生した場合は、宿直職員が応急対応します。

ウ 医療機関との連絡体制・搬送体制

医療機関へ搬送する必要がある傷病者が発生した場合に備え、24 時間体制で診察が受けられる昭和村及び沼田市を中心とした近隣の医療機関との連絡体制を整えます。

(5) 非常食等の備蓄

災害が発生した後事態に備え、宿泊定員の 400 人分の米や乾パン、飲料水などの非常食や、非常用備品を予め備蓄します。

(6) 閉園後及び休園日の対応

宿泊利用のない日は警備会社に機械警備を委託します。異常の場合、警備会社の警備員が現場に急行するとともに、消防署、警察署に通報します。

また、警備会社から園長又は、その他の職員に緊急連絡し、その後の対応を引き継ぎ、安全管理に空白のない体制をとります。

(7) 補償体制

建物や建築物などの設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備等により、利用者に身体的傷害や財物損壊を与えた場合、給食や食材が原因の事故への備えとして施設賠償責任保険をはじめとする各種の保険に加入します。

また、自主事業への参加者やスタッフのケガをした際の補償をするため、普通傷害保険に加入します。

6 地域との協力・連携

(1) 教育施設協力町村受入事業(来浜事業)の実施

昭和村の小学校 6 年生全員を横浜へ招待し、施設見学等を通じて横浜への理解を深めていただきます。

(2) 地元利用の受入

横浜市の学校や青少年団体の利用がない日には、地元の小学校などから利用を受け入れます。

(3) 地元イベントへの出展・連携

昭和村が主催する「昭和の秋祭り」に出展し、村民へ学園の事業や協会が行うイベントなどを紹介します。

また、村主催の「河岸段丘ハーフマラソン」や群馬県が主催する「望郷ラインセンチュリーライド」参加者の宿泊場所や前夜祭会場として、学園を開放したり、横浜市民と一緒に活動できる教室を設定し、広報しょうわなどを通じて募集します。

7 モニタリング

PDCA マネジメントサイクルに則り、計画から実践、評価、そして改善というプロセスを経て、さらに次の計画に反映させることにより、業務水準の向上に繋がります。

(1) 利用者アンケート

利用のたびに記入していただいたアンケートを、四半期毎に集計・分析し、職員間で課題を共有し、新規プログラム導入や環境改善を実行します。

(2) 事業評価会の実施

四半期毎に本部職員と事業評価会を実施し、収支状況や利用状況を分析し、今後の施設運営方法を改善していきます。

8 管理運営経費

別紙、収支予算書に基づき、適正に執行していきます。

平成29年度 横浜市少年自然の家 赤城林間学園「自主事業」

(1)教室事業

事業名	開催期間	対象	内容	人数	参加費(1人)	募集期間
赤城さわやか滞在記Ⅰ	4月29日(土)～30日(日) 1泊2日	小中学生と家族	野外炊事(バーベキュー)、苺狩り、ハイキング 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 2,000円	3月1日(水)～4月14日(金)
赤城さわやか滞在記Ⅱ	5月3日(祝水)～4日(祝木) 1泊2日	小中学生と家族	野外炊事(バーベキュー)、苺狩り、ハイキング 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 2,000円	3月1日(水)～4月14日(金)
赤城さわやか滞在記Ⅲ	5月5日(祝金)～6日(土) 1泊2日	小中学生と家族	野外炊事(バーベキュー)、苺狩り、ハイキング 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 2,000円	3月1日(水)～4月14日(金)
先生のための体験教室	4月23日(日) 5月14日(日) 6月11日(日) 7月23日(日) 8月27日(日) 9月24日(日) 各回 11:00～15:30	横浜市立小中学校教員	野外炊事・クラフト他	各10	一人 3,500円 往復乗車券込	実施日の1週間前まで
親子トレッキング(尾瀬ヶ原ハイク)	7月15日(土)～17日(月) 2泊3日	小中学生と家族	尾瀬学習、尾瀬ハイク、温泉入浴 他	20	中学生以上 14,000円 小学生 10,000円	6月1日(木)～6月23日(金)
親子キャンプ入門	7月29日(土)～30日(日) 1泊2日	小中学生と家族	テント宿泊体験、野外炊事 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 1,000円	6月1日(木)～7月7日(金)
秋の実り収穫ツアーⅠ	9月16日(土)～17日(日) 1泊2日	小中学生と家族	野菜狩り、果物狩り、うどん打ち体験、アップルパイ作り 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 2,000円	8月1日(火)～8月25日(金)
秋の実り収穫ツアーⅡ	10月7日(土)～8日(日) 1泊2日	小中学生と家族	野菜狩り、果物狩り、うどん打ち体験、アップルパイ作り 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 1,000円	9月1日(金)～9月16日(土)
【新規】釜戸で新米を炊いて食べようⅠ	11月4日(土)～5日(日) 1泊2日	小・中学生とその家族友人グループや個人の参加も可能	野外炊事、ハイキング	30	中学生以上 8,000円 小学生 6,000円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 1,000円	10月1日(日)～10月20日(金)
【新規】釜戸で新米を炊いて食べようⅡ	11月18日(土)～19日(日) 1泊2日	小・中学生とその家族友人グループや個人の参加も可能	野外炊事、ハイキング	30	中学生以上 8,000円 小学生 6,000円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 1,000円	10月1日(日)～10月27日(金)
こどもデイキャンプⅠ	11月5日(日)	昭和村内の小学生	野外炊事、クラフト	20	小学生 1,500円	10月1日(日)～10月29日(日)
こどもデイキャンプⅡ	11月19日(日)	昭和村内の小学生	野外炊事、クラフト	20	小学生 1,500円	10月1日(日)～11月12日(日)
冬を楽しむ家族の集いⅠ	1月27日(土)～28日(日) 1泊2日	小中学生と家族	野外活動、クラフトおやつ作り 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 1,000円	12月1日(金)～1月8日(月)
冬を楽しむ家族の集いⅡ	2月24日(土)～25日(日) 1泊2日	小中学生と家族	野外活動、クラフトおやつ作り 他	35	中学生以上 10,000円 小学生 7,000円 3歳～未就学児 5,000円 0～2歳 1,000円	1月9日(火)～2月2日(金)

(2) 飲食事業

(税込)

	内 容	料 金	単 位	提供方法
特別食	きのこ鍋	2,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	すき焼き	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	しゃぶしゃぶ	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	焼き魚(いわな・やまめ・にじます)	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	天ぷら盛り合わせ(季節の山菜)	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	おでん盛り合わせ	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	こんにゃく田楽	310円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	さしみこんにゃく	210円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	もち豚とんかつ	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	追加料金	500円～	1人分	予約販売、品数の増加、増量分の料金
飲料・その他	紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	500mlペットボトル飲料 (水/群馬県産)	130円	1本	予約販売
	500mlペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	150円	1本	予約販売
	夜食セットA (菓子パン+飲料)	260円	1セット	予約販売
	夜食セットB (おにぎり+飲料金)	260円	1セット	予約販売
	夜食セットC (菓子パン+飲料+果物)	360円	1セット	予約販売
夜食セットD (おにぎり+飲料+果物)	360円	1セット	予約販売	
野外炊事食材	カレーセット	570円	1人分	予約販売、野外炊事用
	焼きそばセット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	豚汁セット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	バーベキューセット(A)	720円	1人分	予約販売、野外炊事用
	バーベキューセット(B)	1,540円	1人分	予約販売、野外炊事用

(3)物販事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	提供方法
生活 用品	軍手	40円	1双	事務所販売
	タオル	100円	1枚	事務所販売
	歯ブラシセット	50円	1本	事務所販売
	チャッカマン(簡易ライター)	150円	1箱	事務所販売
	食品ラップ	140円	1個	事務所販売
	アルミホイル	150円	1個	事務所販売
	食品保存袋(大)	25円	1枚	事務所販売
	食品保存袋(中)	20円	1枚	事務所販売
	乾電池 単1 2個パック	220円	1パック	事務所販売
	洗濯洗剤	150円	1袋	事務所販売
	食器洗い洗剤	240円	1本	事務所販売
	クレンザー	250円	1本	事務所販売
	木炭 3kg	420円	1箱	事務所販売
	着火剤	420円	1本	事務所販売
	ゴミ袋 45L 1枚	20円	1枚	事務所販売
	ゴミ袋 45L 10枚入	140円	1袋	事務所販売
	ビニール袋 10枚入	70円	1袋	事務所販売
	ビニール袋 100枚入	720円	1袋	事務所販売
氷(ロックアイス)	310円	1袋	事務所販売	
自動販売機(屋内設置1台)	130~160円	1本	4~10月(7ヶ月)稼動	

(4)レンタル事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	提供方法
レ ン タ ル 用 品	そり	210円	1回	半日
	かんじき	210円	1回	半日
	ノルディックポール	310円	1回	半日
	バーベキューコンロ	510円	1回	半日
	ディスクゴルフ	100円	1回	学校利用
	ディスクゴルフ	210円	1回	宿泊利用者
	ディスクゴルフ	310円	1回	日帰り利用者
	コピー(白黒)	20円	1枚	
	コピー(カラー)	50円	1枚	
	熱風オイルヒーター	510円	1時間	
	公衆電話	10円~	1回	
	コイン式洗濯機	300円	1回	春休み/夏休み
	リーダー室利用料	1,000円	1泊	家族/グループ利用時

(5) 利用促進イベント事業

(税込)

日 程	料 金	内 容
「合宿プラン」 4月1日(土)～4月27日(木)	中学生以上 1,730円～ <料金に含まれるもの> (シーツ・夕食・朝食)	春休みの日程に合わせて、中学・高校・大学の部活やサークルを対象とした1泊2食付のプラン、食事増量分は応相談
「河岸段丘マラソン宿泊パック」 5月27日(土)～28日(日) 1泊2日	中学生以上 3,500円 小学生 3,000円 3歳～未就学児 1,500円	食事代(夕食・朝食)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き
「赤城高原トレイルラン」 8月19日(土)～20日(日) 1泊2日	中学生以上 4,500円 小学生以下 3,500円	食事代(夕食・朝食・特別料理込)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き
「センチュリーライド宿泊パック」 8月26日(土)～27日(日) 1泊2日	中学生以上 3,500円 小学生 3,000円 3歳～未就学児 1,500円	食事代(夕食・朝食)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家赤城林間学園

収支予算書

1 指定管理・収入の部(平成 29 年度)

(1)収入 ※指定管理料を除く

	内 訳	合計金額 (円、税込)	
利用にかかる料金収入 (A)		42,772,640	
項 目	給食収入	給食収入	30,664,440
	材料費等収入	クラフト代等収入	615,600
	シーツ代収入	シーツ利用収入	4,385,880
	薪代収入	野外炊事用薪代、キャンプファイアー用薪、丸太代等	604,800
	光熱水費収入	利用者光熱水費実費負担収入	4,482,000
	自主事業収益還元収入	自主事業収支差益還元	2,019,920

(2)指定管理経費を含めた収入合計

	内 訳	合計金額 (円、税込)
利用にかかる料金収入 (A)		42,772,640
指定管理料 (B)		79,222,000
収入合計 (A)+(B)		121,994,640

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家赤城林間学園

収支予算書

2 指定管理・支出の部(平成 29 年度)

	積算内訳	合計金額 (円、税込)	
① 維持管理運営費用		121,994,640	
項 目	人件費	給料(園長・副園長・常勤職員・アルバイト) その他(給付・手当・福利厚生費・退職給付引当金)	35,453,000
	修繕費	野外炊事場碎石敷入、B棟1F女子トイレ洋式化、厨房食器乾燥機交換、厨房回転釜交換、A棟スロープ手すり改修 等	4,401,000
	設備管理費	消防設備点検、自家用電気工作物保安業務、ボイラー保守点検、井水ろ過装置保守点検 等	3,704,400
	保安警備費	機械警備	192,240
	備品購入費	厨房用具 等	453,600
	消耗品費	事務用品、施設管理用品 等	2,430,000
	外構・植栽管理費	外構・園内植栽管理	858,600
	廃棄物処理費	一般廃棄物、生ゴミ収集処理	766,800
	広報費	広告掲載	108,000
	印刷製本費	リーフレット印刷 等	54,000
	光熱水費	電気・ガス	108,000
	燃料費	灯油 等	6,156,000
	保険料	施設賠償保険、生産物賠償責任保険 等	450,000
	使用料・賃借料	コピー機リース、AEDレンタル、NHK受信料 等	648,000
	委託料	運営協力会、定期清掃業務 等	18,684,000
	報償費	ボランティアスタッフ謝金	10,800
	公租公課費	収入印紙、自動車税 等	120,000
	旅費交通費	出張旅費	378,000
	通信運搬費	電話・郵送・インターネット接続 等	572,400
	支払手数料	寝具クリーニング 等	1,998,000
	会費及び負担金	簡易水道協会会費 等	129,600
	給食原材料費	給食原材料	24,531,120
	プログラム材料費	プログラム用原材料	439,560
	シーツ使用料	シーツ洗濯代	3,414,960
	薪代	炊事、キャンプファイア用薪	423,360
	食糧費	ボランティアスタッフ食事	10,800
	間接事務費	事務局管理経費	2,672,000
租税公課費	仮受消費税と仮払消費税の差額	12,826,400	

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家赤城林間学園

収支予算書

3 自主事業・収入の部(平成 29 年度)

	内 訳	合計金額 (円、税込)	
② 自主事業による収入		8,072,240	
項 目	教室事業	教室参加料収入	3,165,480
	飲食事業	特別料理、野外炊事用食材等販売収入	2,648,160
	物販事業	自動販売機収入、物品販売等収入	82,080
	その他	公衆電話、物品レンタル事業、利用促進事業収入	2,176,520

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家赤城林間学園

収支予算書

4 自主事業・支出の部(平成 29 年度)

	内 訳	合計金額 (円、税込)
② 自主事業による経費		8,072,240
教室事業	教室運営にかかる経費	2,476,440
飲食事業	特別料理、食材等の販売にかかる経費	2,117,880
物販事業	自動販売機、物品販売にかかる経費	58,320
項 その他事業	公衆電話、物品レンタル事業、利用促進事業にかかる経費	1,399,680
目 指定管理事業還元支出	自主事業収支差額	2,019,920

横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園

平成29年度 事業計画書

指定管理者

公益財団法人横浜市体育協会

1 基本的な考え方

南伊豆臨海学園の位置づけ、関連行政施策、重点課題等を踏まえ、次のとおり5つの基本方針、さらに15のアクション（実施策）を定め、指定管理事業に取り組みます。

(1) 運営方針に基づく15のアクション

基本方針1 野外活動・自然観察の拠点として価値の高い施設にします
アクション(実施策) ①「総合的な学習」をサポート ②南伊豆ならではの自然体験活動等を提供 ③市民ボランティアとの協働
基本方針2 安全・安心な施設にします
アクション(実施策) ④安全管理体制の強化 ⑤ユニバーサルサービスの充実 ⑥ライフサイクルコストの縮減
基本方針3 大規模グループからファミリーまで一年を通じて満足いただける施設にします
アクション(実施策) ⑦ネットワークを駆使し効率的なPR活動を実施 ⑧職員の資質向上と資格認証等の取得
基本方針4 地域に根ざした施設にします
アクション(実施策) ⑨地元人材の活用と地元経済への貢献 ⑩横浜市と南伊豆町との友好関係をサポート
基本方針5 SR(社会的責任)活動を実践します
アクション(実施策) ⑪モニタリングの仕組みの整備 ⑫コンプライアンス活動の徹底 ⑬PDCA サイクルによるマネジメントの推進 ⑭環境に配慮した施設管理 ⑮環境行動を促す事業の実施

(2) 平成29年度の方針と年度達成目標

年度方針	主な取組	年度達成目標
●自主事業(教室事業)参加率の前年度比アップ	◆学校利用増、教室参加者増に向けた営業活動強化	実利用者 6,291人
●年間を通じた施設利用への取組み	◆一般団体、家族利用、合宿利用増に向けた営業 ◆横浜と南伊豆の小学生同士の交流会開催	(平成24年度実績の14.3%増)
●南伊豆町との交流強化	◆町関連の事業強化、イベントへの出展等	

2 職員配置・運営体制

南伊豆臨海学園の管理運営にあたり、必要最小限の職員体制で、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。

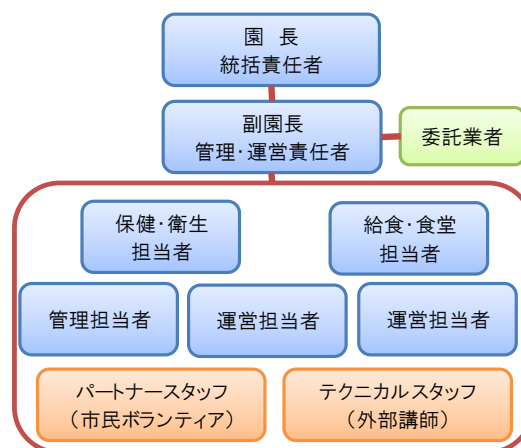
(1) 管理運営体制

ア 職員の配置

園長、副園長、保健・衛生担当者、給食・食堂担当者、管理担当者、運営担当者を配置します。

いずれも地元住民を採用して配置し、緊急時にはいつでも施設へ駆けつけることが可能な体制とします。

■南伊豆臨海学園の管理運営体制



イ 補助スタッフの配置

繁忙期には野外活動指導や施設内の清掃などを行うパートナースタッフとして、支援ボランティアを配置します。

また、カッターやシーカヤックなどの指導に際に、職員だけでは十分な人員が確保できない場合、専門的な技術を持つ地域人材をテクニカルスタッフとして配置します。

ウ 勤務ローテーション

利用団体の活動状況にあわせて通常、遅番、宿直勤務、休日などを組み合わせ、効率的に編成します。

(2) 職員研修

研修計画に則り、協会本部や園長が中心となって職場内研修や外部研修を実施し、人材の育成を図ります。

■平成 29 年度職員研修計画

内容	対象
マネジメント研修	主任・副主任
危機管理・リスクマネジメント研修	主任・副主任
経理事務研修	副主任
施設管理・設備等技術研修	全スタッフ
ビジネスマナー・接遇研修	全スタッフ
個人情報保護研修	全スタッフ
コンプライアンス研修	全スタッフ
人権研修	全スタッフ
上級・普通救急救命講習	全スタッフ
自然観察指導員	担当スタッフ

3 施設の効用の最大限発揮

(1) 広報計画

教室や事業ごとに各種広報媒体を活用し、計画的な広報を行います。

■主な広報手段

活字メディア	ネット	その他
広報よこはま	Facebook	学校ポストの利用
自然と遊ぼう	ハマスポ	学校や青少年団体への周知
SPORTS よこはま	ブログ	駅や学校でのポスター掲示

(2) 利用促進

ア 学校への訪問活動

横浜市内小学校による体験学習利用の回復のため、かつて南伊豆臨海学園を利用していた学校をはじめ、学園を利用したことのない学校を直接訪問し体験学習利用をはたらきかけます。

イ 市内小学校教員限定の「体験会」を開催

学園を利用したことのない市内小学校の教員に限定した1泊2日の体験会として「先生のための体験学習」を開催します。(ひとりにつき 5000 円/1泊2日・横浜⇄南伊豆・送迎費用込)

ウ 個人利用プラン・運動部、文化部合宿プランの実施

学校や青少年団体の利用が少ない閑散期に家族利用デーを設け、家族・グループが宿泊できるようにします。また、チラシ・ポスターを活用し合宿利用の増加を図ります。

エ 利用日の拡大

12月28日から1月4日まで開館します。

オ 自主事業(教室事業)の展開による利用促進

ゴールデンウィークや夏休みに自主事業(教室事業)を開催します。

別添「自主事業」参照

カ イベントの誘致

閑散期には自転車やトライアスロン、オープンウォータースイミングなど南伊豆の自然を活かしたイベントを誘致し、学園の利用促進を図ります。

(3) 利用者への支援策

ア 利用団体への支援

学園を安全で快適に利用していただくための支援は、①電話等での利用相談 ②来園による下見や事前打ち合わせ ③当日の最終打合せの3段階で行います。

イ 南伊豆の環境と資源を活かした豊富なプログラム提供

南伊豆臨海学園を訪れたすべてのお客様が楽しく、そして安全に体験できる多種多様な自然体験プログラムを提供します。

ウ 自主事業による支援策

海浜活動やハイキングなどの活動内容に対応できるよう、お茶やスポーツドリンク、ジュースなどを販売し、要望があれば冷やしたものを浜まで届けるサービスをします。

エ 生活用品の販売や自動販売機の設置

近隣に商店がないことから、学園で必要となる生活用品等を販売するほか、学園内に清涼飲料水の自動販売機を設置します。

(4) 食事提供

ア 食事の提供計画

一部食材において、地元の新鮮な食材を使い、季節に合わせてメニューを変更することで、南伊豆を感じることができる食事にします。また利用団体から要望があった場合バイキング形式での食事提供をします。その他活動内容に合わせて屋外でも食事ができるよう、お弁当も用意します。

イ 食物アレルギーのあるお客様への対応について

アレルギーがあるお客様については、事前にヒアリングし、食材から調味料、使用器具、調理手順に至るまで、アレルギーの除去が徹底されるよう、細心の注意を払います。

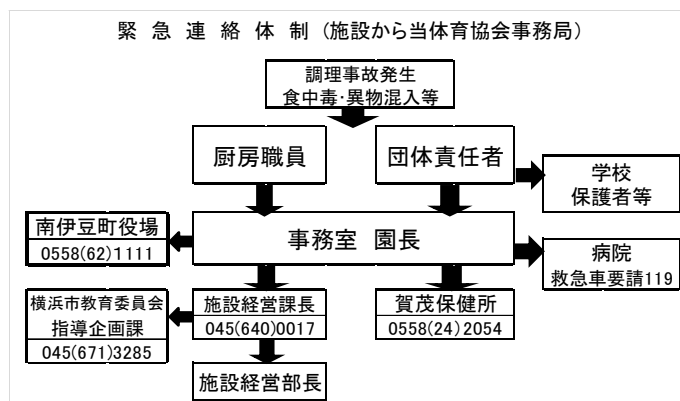
また、アレルギーをもつ児童へ手渡すまでに事前の打合せ、来園時の全体打ち合わせ、実際に食事提供時のチェックと3回確認したのち、引率責任者により、児童へ手渡すこととします。

ウ 献立、成分の情報公開

給食や特別料理などの全メニューの原材料や成分表をインターネットで公開します。

エ 調理事故発生時の連絡体制

万が一の事故が発生した場合に備え、予め「緊急連絡体制」を整えておきます。事故発生があった場合は、調理や食事の現場から園長を通じて協会本部、横浜市教育委員会等の各関係機関に迅速に連絡をします。



4 施設・設備の維持管理

(1) 施設・設備の点検

毎日の日常点検を確実にを行うほか、法定点検及び機能維持点検（自主的点検）を信頼ある専門業者へ委託します。

■職員による日常点検計画

場所	内容	回数
各所	仕上材等の浮き、ひびわれ、はがれ、照明の不点灯、建物のぐらつき等、不具合の発見	毎日
ボイラー	作動状況・破損等の確認	作動時
浴槽ろ過機	作動状況・破損等の確認	作動時
塩素注入機	作動状況・破損等の確認	作動時
水道中継タンク	作動状況・破損等の確認	年4回

■専門業者による定期点検計画

種別	項目	内容	回数
法定点検	消防設備点検	屋内・外消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備、非常用放送設備、避難器具、誘導灯 ハロゲン化物消火設備等	2回/年
法定点検	危険物貯蔵所点検	地下灯油タンクの点検	1回/年
法定点検	自家用電気工作物点検	電気主任技術者による受電設備、分電盤等の点検	12回/年
法定点検	汚水処理施設保守点検	汚水処理装置の点検	48回/年
法定点検	機械設備保守点検	給水設備、ボイラーの作動点検	1回/年

(2) 日常清掃・定期清掃

利用後は職員が必ず最終点検、確認を行いながら清掃を行うほか、ガラス清掃や害虫駆除などを業者に委託した行い、快適で衛生的な環境を保持します。

■職員による日常清掃計画

場所	清掃内容	回数
各所ゴミ箱	ごみ収集	利用後
玄関・ロビー・廊下	床除塵	利用後
ラウンジ・研修室	床除塵	利用後
食堂	床除塵、整理整頓	利用後
宿泊室	床除塵、整理整頓	利用後
事務室	床除塵、整理整頓	毎日
トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	毎日
子浦港トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	週1回(夏期) 月1回(夏期以外)
シャワー室	砂落とし	利用後
浴室・脱衣所・洗い場・洗面所	除塵、ごみ拾い、水切り後ふき取り	利用後
森の家	床除塵	利用後
建物内外外構	ごみ拾い、落ち葉清掃及び吸殻清掃	利用後
キャンプファイア場	ごみ拾い、落ち葉清掃及び吸殻清掃	利用後
照明器具、コンセント	器具の除塵	適宜

■職員による定期清掃計画

場所	内容	清掃内容	回数
トイレ、浴室他	換気扇、ガラリ清掃	埃等を除去し、適正な換気能力を維持する	2回/年
浴室、脱衣場	排水溝、タイル、換気扇、鏡、洗面台 他	除塵、清掃、衛生用具洗浄	2回/年
各所	照明器具清掃	各所にある照明器具を清掃する	2回/年
廊下・玄関・食堂	床ワックス	保護剤を塗布してワックスを塗装する	2回/年
ラウンジ・研修室・ 医務室・事務室	床ワックス	保護剤を塗布してワックスを塗装する	2回/年
ガラス壁・外壁	高圧洗浄	高圧洗浄機を使用して洗浄する	1回/年
食堂電気傘・高所 埃除去	除塵・清掃	洗剤で汚れを落とし、水切りをしてふき取る	2回/年

■専門業者による定期清掃計画

場所	内容	清掃内容
厨房設備	鼠・害虫駆除	忌避剤を散布
各所	ガラス・網戸清掃	専門の清掃業者による清掃
宿泊室	エアコン清掃	専門の清掃業者による清掃

(3) 外構管理

外構管理は職員が中心となって行います。

■外構・植栽管理計画

内容	実施者	回数
除草、中低木剪定	職員	4回/年(4・6・8・11月)
排水溝清掃	職員	4回/年(4・6・8・11月)
落ち葉清掃	職員	適宜
高木剪定	業者	適宜

(4) 宿泊時の維持管理

ア シーツクリーニング

宿泊時にはスリーピングシートと枕カバーを1人に1枚ずつ支給し、利用終了後に、クリーニングを行います。

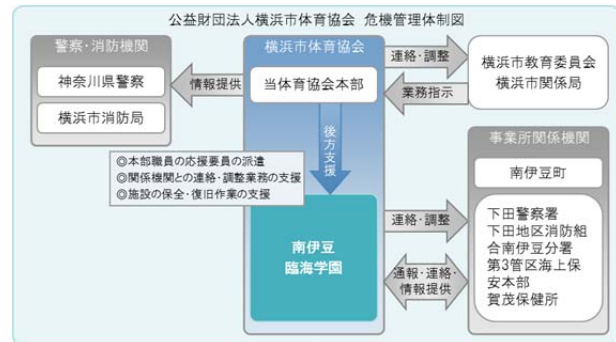
イ 寝具クリーニング

専門業者による毛布のクリーニングは年2回、寝具一式の乾燥を年1回実施します。

5 安全管理

(1) 緊急・救急時の安全管理体制

事故などの緊急時に備え、協会全体で危機管理体制を確立するとともに、適切な緊急連絡網の整備により、情報共有をしながら迅速に対応します。



(2) 地震・津波対策

ア 学園内での対応

海のプログラム実施中は、学園施設内に必ず職員1名を当直させ、連絡が取れるようにします。

イ 「海のプログラム」指導中の職員・スタッフの対応

職員・スタッフは、学園からの地震発生時の連絡などにより地震発生情報を確認次第、すぐに指定する避難用上陸ポイント(4か所を設定)に誘導します。

ウ 関係者への連絡

地震が発生した場合は、学園当直職員から所属団体の緊急時連絡先・関係者に速やかに連絡し、学園での状況を説明します。避難状況等についても順次、指導職員やスタッフから学園に報告させ、適宜関係者に連絡をし、安心感を得られるようにします。

エ 学園での活動中や生活中に地震が発生した場合の対応

学園で地震が発生した場合は、非常用放送を通じて、ゆれが収まるまで安全な場所で身体をかがめるなど、自身を守るように指示をします。ゆれが収まったら、学園職員の号令により、学園内の避難場所である中庭に集合させます。

(3) 荒天の対策

気象状況により、荒天が予想される場合は、早めの利用・実施の可否判断をします。また、交通機関の運休や、道路の通行止めなどが発生した場合は、学園にしばらく留まり復旧まで滞在するよう勧めます。その間の食事や宿泊については最優先で対応します。

(4) 負傷者及び急病人の対応

ア 迅速な応急・救命手当と病院への搬送

活動中などに負傷者や急病人が発生した場合は、利用団体の引率者がまず応急手当と救命手当を行うことを原則とし、職員へ連絡をしてもらいます。連絡を受けた職員は、状況に応じ、救急車の要請または学園車両で病院へ搬送します。

職員が事故発生現場にいた場合は、引率者と協力して直ちに応急手当と救命手当を行います。

イ 職員の 24 時間対応

宿泊利用のお客様において夜間に負傷や急病が発生した場合は、宿直職員が応急対応します。

ウ 医療機関との連絡体制・搬送体制

医療機関へ搬送する必要がある傷病者が発生した場合に備え、24 時間体制で診察が受けられる南伊豆町を中心とした近隣の医療機関との連絡体制を整えます。

(5) 事故防止のための方策

ア ライフジャケットの着用

全員にライフジャケットの着用を徹底し水難事故を防止します。

イ 非常食等の備蓄

災害が発生した後事態に備え、宿泊定員の 200 人分の乾パン、飲料水などの非常食や、非常用備品を予め備蓄します。

(6) 閉園後及び休園日の対応

宿泊利用のない日は警備会社に機械警備を委託します。異常の場合、警備会社の警備員が現場に急行するとともに、消防署、警察署に通報します。

また、警備会社から園長又は、その他の職員に緊急連絡し、その後の対応を引き継ぎ、安全管理に空白のない体制をとります。

(7) 補償体制

建築物などの設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備等により、お客様に身体的傷害や財物損壊を与えた場合や、給食や食材が原因の事故への備えとして施設賠償責任保険をはじめとする各種の保険に加入します。

また、自主事業への参加者やスタッフのケガをした際の補償をするため、普通傷害保険に加入します。

6 地域との協力・連携

(1) 教育施設協力町村受入事業(来浜事業)の実施

南伊豆町の小学校 5 年生全員を横浜へ招待し、施設見学等を通じて横浜への理解を深めていただきます。

(2) 地元利用の受入

横浜市の学校や青少年団体の利用がない日には、地元の小・中学校、特別養護学校、学童保育などの利用を受け入れます。

(3) 南伊豆町との協力

町民まつり「フェスタ南伊豆」に出展し、町民に対し学園の事業や協会が行うイベントなどを紹介します。また、町が行う静岡県外小学生を対象とした田舎体験「農村漁村活性事業」の宿泊指導を行うほか、町教育委員会主催の「ふるさと学級」や「通学合宿」の実施に協力します。

7 モニタリング

PDCA マネジメントサイクルに則り、計画から実践、評価、そして改善というプロセスを経て、さらに次の計画に反映させることにより、業務水準の向上につなげます。

(1) 利用者アンケート

利用のたびに記入していただいたアンケートを四半期毎に集計・分析します。

(2) 事業評価会の実施

四半期毎に本部職員と事業評価会を実施し、収支状況や利用状況を分析し、今後の施設運営方法を改善していきます。

8 管理運営経費

別紙、収支予算書に基づき、適正に執行していきます。

平成29年度 横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園「自主事業」

(1)教室事業

事業名	開催期間	対象	内容	人数	参加費(1人)	募集期間
カヤック体験①	4月15日(金)～16日(土) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	3月13日(月)～4月5日(水)
カヤック体験②	4月29日(土)～30日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	3月21日(火)～4月19日(水)
さかなまつり	5月3日(祝木)～4日(祝木) 1泊2日	小中学生と家族・一般	魚料理、ハイキング、クラフト、シーカヤック体験他	30	中学生以上 11,000円 小学生 9,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	3月15日(水)～4月10日(月)
親子わくわく南伊豆	5月4日(祝木)～6日(土) 2泊3日	小中学生と家族	カッター、カヤック、ハイキング、バーベキュー他	45	中学生以上 12,000円 小学生 10,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	3月15日(水)～4月10日(月)
カヤック体験③	5月6日(土)～7日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	3月25日(土)～4月24日(月)
カヤック体験④	5月20日(土)～21日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	4月12日(水)～5月10日(水)
カヤック体験⑤	6月3日(土)～4日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	4月24日(月)～5月26日(金)
海へ行こう!	7月28日(金)～30日(日) 2泊3日	小中学生と家族	カッター、シーカヤック、海水浴、シュノーケリング、クラフト	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	6月15日(木)～7月7日(金)
カヤック体験⑥	8月2日(水)～3日(木) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	6月23日(金)～7月21日(金)
カヤック体験⑦	8月3日(木)～4日(金) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	6月23日(金)～7月21日(金)
サマーキャンプ 海の親子	8月4日(金)～6日(日) 2泊3日	小中学生と家族	シーカヤック、シュノーケリング、カッター体験、海水浴、花火 他	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	6月19日(月)～7月14日(金)
親子キャンプ 夏の思い出	8月18日(金)～20日(日) 2泊3日	小中学生と家族	シーカヤック、海水浴、シュノーケリング、カッター体験、花火	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	6月19日(月)～7月14日(金)
カヤック体験⑧	8月26日(土)～27日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	7月18日(火)～8月16日(水)
カヤック体験⑨	9月16日(土)～17日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	8月10日(木)～9月8日(金)
カヤック体験⑩	9月17日(日)～18日(祝月) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	8月10日(木)～9月8日(金)

事業名	開催期間	対 象	内 容	人数	参加費(1人)	募集期間
カヤック体験⑪	10月7日(土)～8日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	9月1日(金) ～9月29日(金)
カヤック体験⑫	10月8日(日)～9日(祝月) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	9月1日(金) ～9月29日(金)
カヤック体験⑬	10月21日(土)～22日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	9月19日(火) ～10月10日(火)
カヤック体験⑭	11月11日(土)～12日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	シーカヤックの練習 妻良湾内の半日カヤック体験	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	10月1日(日) ～10月31日(火)
秋の味覚三昧	11月18日(土)～19日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	ぼたん鍋、ハイキング、焼きいも体験、クラフト	40	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	10月1日(日) ～10月31日(火)
つきたてもち食べよ	1月6日(土)～7日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	もちつき体験、干物作り、やきいも、たわしゴルフ 他	20	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	11月15日(水) ～12月15日(金)
1泊2日！ みなみの桜と菜の花ハイク	3月3日(土)～4日(日) 1泊2日	小中学生と家族・一般	みなみの桜と見学、ハイキング、自然観察、温泉入浴	20	中学生以上 12,000円 小学生 10,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	1月15日(月) ～2月15日(木)
先生のための 体験学習	①6月2日(金)～3日(土) 1泊2日 ②8月3日(木)～4日(金) 1泊2日	横浜市立小学校教員	カッター体験、シーカヤック体験、アジの開き作り	各40	5,000円	①4月1日(土) ～5月15日(月) ②4月1日(土) ～7月10日(月)

(2) 飲食事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	提供方法
特別料理	フルーツセット A	3,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	フルーツセット B	2,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	フルーツ単品 A	300円	1品	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	フルーツ単品 B	200円	1品	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	フルーツ単品 C	100円	1品	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	刺身 Aセット	1,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	刺身 Bセット	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	さざえつぼ焼き (1個)	350円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	煮魚	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	特別料理 Aコース	2,000円	1人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	特別料理 Bコース	1,000円	1人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	海鮮鍋 (2人前)	2,000円	2人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	ぼたん鍋 (2人前)	2,000円	2人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	追加料金	500円～	1人分	予約販売、品数の増加、増量分の料金
飲料・その他	500ml ペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	150円	1本	予約販売
	500ml ペットボトル飲料 (ミネラルウォーター)	130円	1本	予約販売
	2000ml ペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	350円	1本	予約販売
	2000ml ペットボトル飲料 (ミネラルウォーター)	250円	1本	予約販売
	350ml 缶飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	250ml 缶飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	250ml 紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	120円	1本	予約販売
	200ml 紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	110円	1本	予約販売
	お菓子詰め合わせ A	200円	1袋	予約販売
	お菓子詰め合わせ B	250円	1袋	予約販売
	お菓子詰め合わせ C	300円	1袋	予約販売
	菓子パン	120円	1個	予約販売
	カップゼリー	100円	1個	予約販売
	プリン	100円	1個	予約販売
	カップめん	170円	1個	予約販売
アイス	160円	1個	予約販売	

(3)物販事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	備 考
生 活 用 品	軍手	200円	1双	事務所販売
	軍手(子ども用)	150円	1双	事務所販売
	ビニールカッパ	300円	1個	事務所販売
	フェイスタオル	160円	1枚	事務所販売
	歯ブラシセット	380円	1本	事務所販売
	シャンプー・リンスセット(小)	300円	1セット	事務所販売
	電池 単1 2個パック	300円	1パック	事務所販売
	電池 単2 2個パック	250円	1パック	事務所販売
	電池 単3 4個パック	150円	1パック	事務所販売
自動販売機(屋内設置1台)		110円~	1本	

(4)レンタル等事業

(税込)

内 容		料 金	単 位	備 考
レ ン タ ル 用 品 等	シーカヤック	1,700円	1日	小・中学校利用
	シーカヤック	850円	半日	小・中学校利用
	シーカヤック	3,400円	1日	一般団体利用等
	シーカヤック	1,700円	半日	一般団体利用等
	シュノーケリングセット	200円	1日	
	コピー(白黒)	20円	1枚	
	コピー(カラー)	50円	1枚	

(5)利用促進イベント事業

(税込)

日 程	料 金	内 容
「合宿プラン」 4月1日(土)~4月27日(木)	中学生以上 1,960円~ <料金に含まれるもの> (シーツ・夕食・朝食・昼食)	春休みの日程に合わせて、中学・高校・大学の部活やサークルを対象とした1泊3食付のプラン、食事増量分は応相談

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園

収支予算書

1 指定管理・収入の部(平成 29 年度)

(1)収入 ※指定管理料を除く

	内 訳	合計金額 (円、税込)	
利用にかかる料金収入 (A)		22,381,720	
目	給食収入	給食収入	15,988,320
	材料等収入	クラフト代等収入	926,640
	シーツ代収入	シーツ利用収入	1,530,360
	薪代収入	野外炊事用薪代、キャンプファイアー用薪、丸太代等	235,440
	光熱水費収入	利用者光熱水費実費負担収入	589,680
	自主事業還元収入	自主事業収支差益還元	3,111,280

(2)指定管理料を含めた収入合計

	内 訳	合計金額 (円、税込)
利用にかかる料金収入 (A)		22,381,720
指定管理料 (B)		56,603,000
収入合計 (A) + (B)		78,984,720

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園

収支予算書

2 指定管理・支出の部(平成 29 年度)

	積算内訳	合計金額 (円、税込)	
① 維持管理運営費用		78,984,720	
項 目	人件費	給料(園長・副園長・常勤職員・アルバイト) その他(給付・手当・福利厚生費・退職給付引当金)	29,700,000
	修繕費	壁紙張替え、換気扇交換、ガス庫扉改修、小破修繕	1,188,000
	設備管理費	消防設備点検、機械設備保守点検、汚水処理設備保守点検、自家用電気工作物保安業務等	2,862,000
	保安警備費	機械警備	349,920
	備品購入費	厨房用具等	216,000
	消耗品費	事務用品、衛生用品等	1,458,000
	外構・植栽管理費	樹木剪定等	43,200
	廃棄物処理費	一般廃棄物処理	324,000
	広報費	広告掲載	10,800
	印刷製本費	パンフレット印刷等	108,000
	光熱水費	電気・ガス・水道	5,562,000
	燃料費	ボイラー用燃料、業務車両用ガソリン	1,620,000
	保険料	施設賠償保険、生産物賠償保険、モーターボート保険等	320,000
	使用料・賃借料	コピー機レンタル、AEDレンタル、NHK受信料等	1,404,000
	委託料	運営協力会、ガラス・網戸清掃、害虫駆除、カッター吊降等	15,120,000
	報償費	カッター指導員	324,000
	公租公課費	収入印紙等	50,000
	旅費交通費	出張旅費	291,600
	通信運搬費	電話、郵送、インターネット接続 他	356,400
	支払手数料	寝具クリーニング、振込手数料	432,000
	会費及び負担金	地区運営負担金、カッター上架料 他	194,400
	給食原材料費	給食原材料	11,084,040
	プログラム材料費	プログラム用原材料	587,520
	シーツ使用料	シーツ洗濯代	1,224,720
	薪代	キャンプファイヤー用薪	147,960
	食糧費	ボランティアスタッフ食事	10,800
	間接事務費	事務局管理経費	1,472,000
租税公課費	仮受消費税と仮払消費税の差額	2,523,360	

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園

収支予算書

3 自主事業・収入の部(平成 29 年度)

	内 訳	合計金額 (円、税込)	
② 自主事業による収入		10,765,440	
項 目	教室事業	教室参加料収入	5,852,520
	飲食事業	特別料理、野外炊事用食材等販売収入	2,536,920
	物販事業	自動販売機収入、物品販売等収入	167,400
	その他事業	公衆電話、物品レンタル事業、利用促進事業収入	2,208,600

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園

収支予算書

4 自主事業・支出の部(平成 29 年度)

	内 訳	合計金額 (円、税込)
② 自主事業による経費		10,765,440
教室事業	教室運営にかかる経費	4,856,760
飲食事業	特別料理、食材等の販売にかかる経費	2,036,880
物販事業	自動販売機、物品販売にかかる経費	75,600
項 その他事業	公衆電話、物品レンタル事業、利用促進事業にかかる経費	684,920
目 指定管理事業還元支出	自主事業収支差額	3,111,280